



# 第12期第1四半期 決算補足資料

FY2022 1Q  
2021.3.1～2021.5.31  
Financial Results

## Index

---

2022年2月期 第1Q 業績ハイライト(連結)	3P
売上高(業態別)・原価率の四半期推移	5P
既存店前年比(前々年比)	6P
段階利益の四半期推移	7P
出退店の状況	8P
損益計算書(連結)	9P
貸借対照表(連結)	10P
今後の取組み	11P
業績ガイダンス(修正)	14P
Appendix	15P

## 業績のハイライト（連結）

- **休業・時短営業要請と酒類提供制限**、直営・FC全店（居酒屋）に及ぶ
- 助成金制度を活用、損失は限定的、**第1Q 経常利益  $\Delta$ 121百万円**  
(前年同期 経常利益  $\Delta$ 1,470百万円)
- **自己資本比率 44.9%** (前期末43.8% +1.2%)
- 食事需要、ランチ需要への対策として**新業態開発に着手**
- 4度目の緊急事態宣言発出を受け**通期業績予想を修正**

**お知らせ：株主優待券（券面色：オレンジ）のご利用期限を21年11月30日まで再延長いたしました。**

参照：17Pまたは当社HP「株主様ご優待券の有効期限再延長に関するお知らせ」（2021/7/14）

# 業績のハイライト（連結）

■ 大幅な減収も販管費抑制の取り組みと助成金制度活用で経常利益△121百万円

（参考）コロナ以前の1Q

（百万円）	2022年2月期	2021年2月期		2020年2月期	
	1Q (21年3月～5月)	1Q (20年3月～5月)	増減	1Q (19年3月～5月)	増減
売上高	<b>2,229</b>	3,044	△815	10,191	△7,962
営業利益	<b>△2,283</b>	△1,580	△703	936	△3,219
経常利益	<b>△121</b>	△1,470	1,349	1,056	△1,177
当期純利益	<b>△147</b>	△1,465	1,318	723	△870

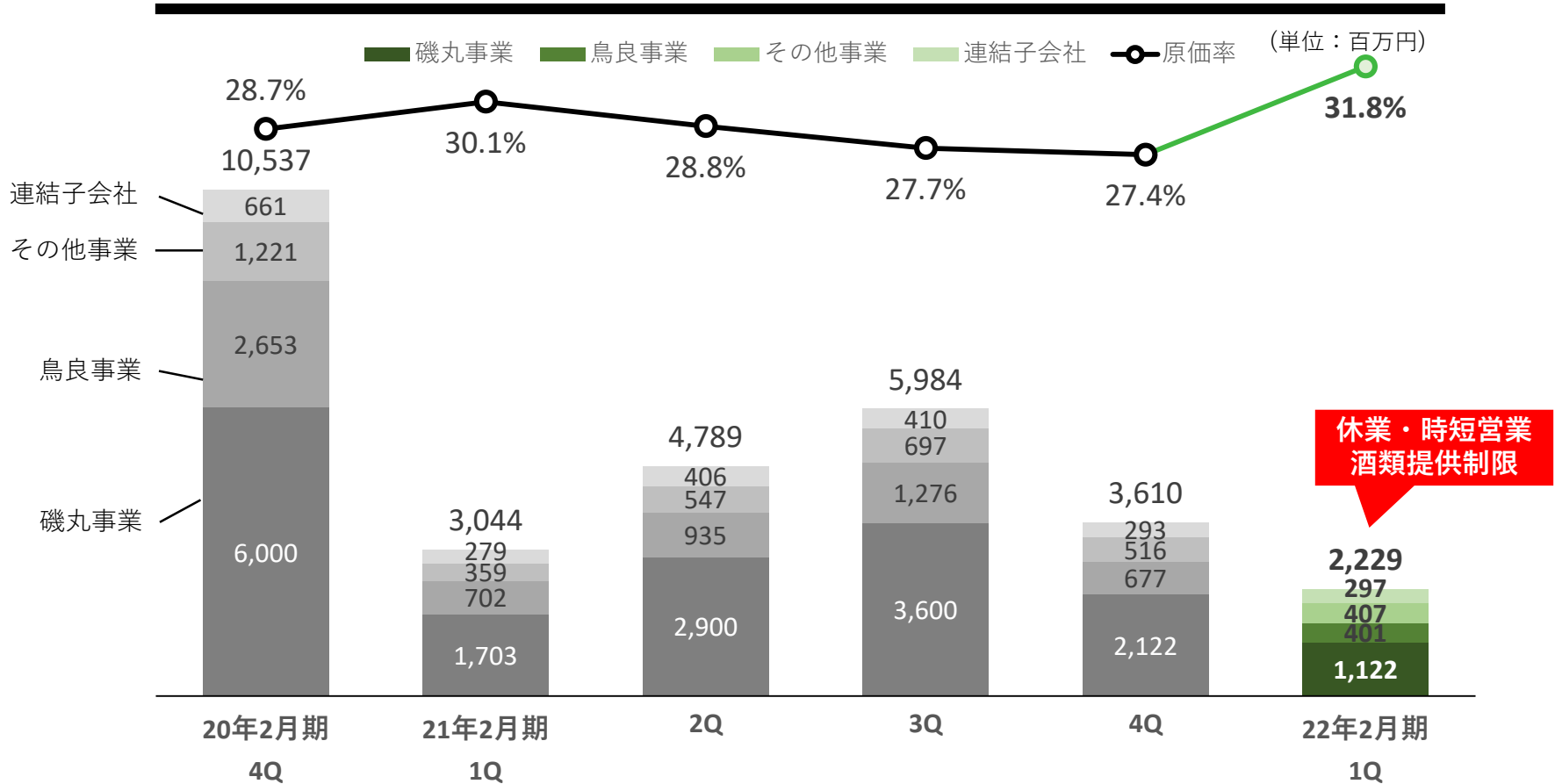
百万円未満は切り捨てて表示

※助成金：新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金・時短協力金、それぞれ申請手続きの完了をもって計上、入金までの期間は自治体によってさまざま

# 売上高(業態別)・原価率の四半期推移

■ 第1Qは休業・時短営業・酒類提供制限で苦戦（減収・原価率UP）

売上高(業態別)・原価率の四半期推移



磯丸事業：磯丸水産全店、鳥良事業：鳥良、鳥良商店、おもてなし鳥良、その他事業：きづなすし、五の五、いち五郎他、  
連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)

# 既存店前年比（前々年比）

■ 前年（コロナ禍）との売上高比較は実態反映しない、前々年（コロナ以前）との比較 第1Q計で 24.6%

< 2020年2月期 既存店前年比 >

2020年 2月期	2019年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	通期計
前年比	98.6%	96.6%	98.3%	97.1%	100.2%	102.3%	99.7%	92.6%	101.0%	99.1%	103.7%	103.7%	99.0%
既存店数	217	219	221	224	244	243	238	237	242	235	233	233	—

< 2021年2月期 既存店前年比 >

2021年 2月期	2020年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	通期計
前年比	62.1%	58.9%	58.5%	48.5%	59.4%	50.4%	64.0%	76.0%	70.8%	57.3%	37.1%	40.1%	59.1%
既存店数	237	5	6	198	203	193	197	198	200	194	116	109	—

< 2022年2月期 既存店前年比 >

2022年 2月期	2021年 3月	4月	5月	6月 (速報値)	1Q計
前年比	57.5%	121.5%	117.7%	88.4%	58.4%
既存店数	190	4	5	28	—

< 2022年2月期 既存店前々年比 >

2022年 2月期	2021年 3月	4月	5月	6月 (速報値)	1Q計
前々年比	36.5%	30.2%	7.1%	14.7%	24.6%
既存店数	187	187	188	189	—

**比較対象 2020年2月期**  
(コロナ禍の影響ない時期)

既存店 : 期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗

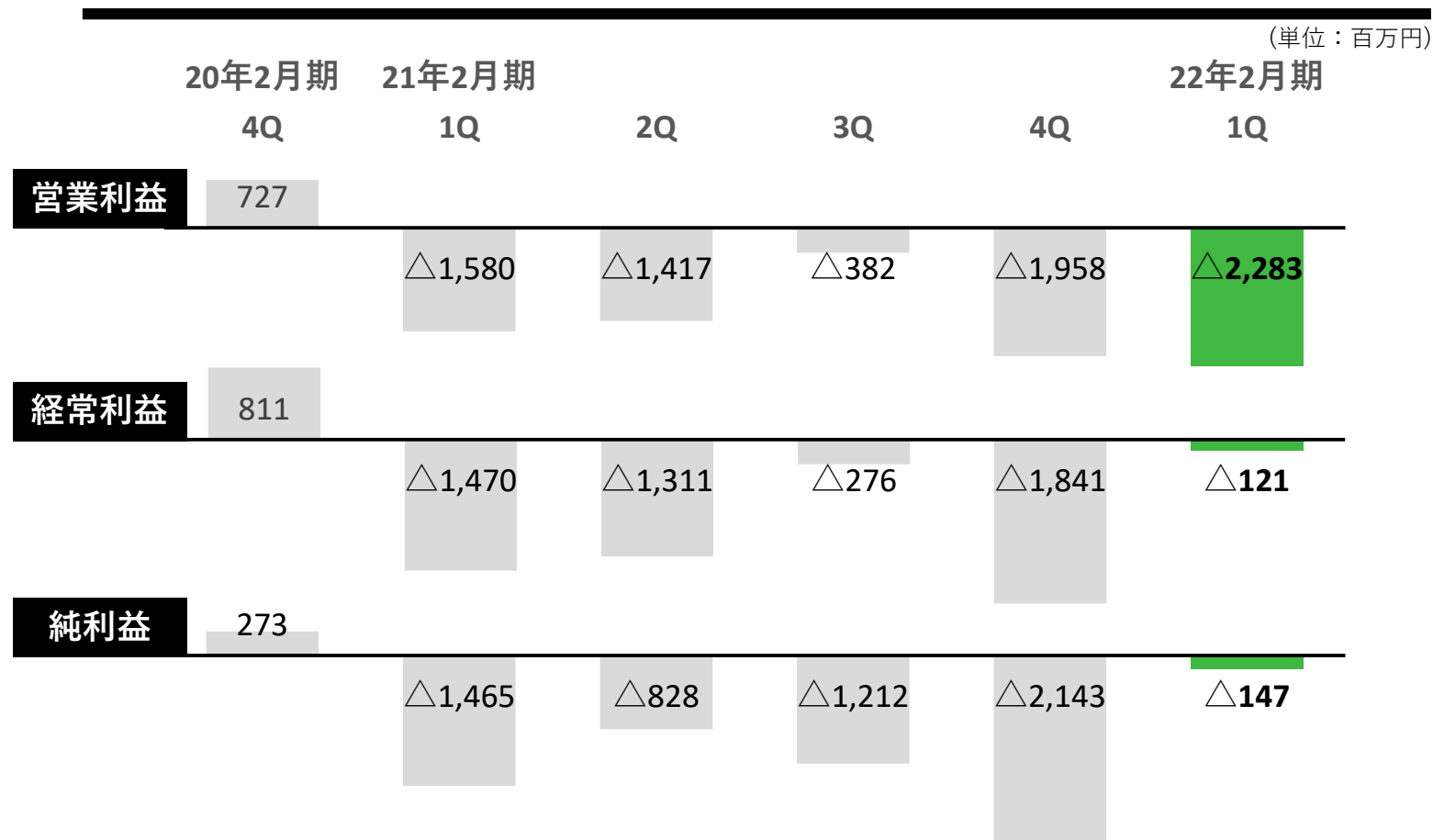
既存店前年比 : 既存店を対象として（1日でも休業した既存店は算出対象から除外）前年の売上高実績と比較した値（通例方式）

既存店前々年比 : コロナ禍の影響で休業した既存店を算出対象から除外せず、コロナ禍の影響がない前々年の売上高実績と比較した実態に近い値

# 段階利益の四半期推移

■ 営業赤字続く、第1Qは営業外収益/助成金収入2,102百万円を計上して経常損失△121百万円

段階利益(コロナ以前～コロナ禍)の四半期推移



※助成金：新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金・時短協力金、それぞれ申請手続きの完了をもって計上、入金までの期間は自治体によってさまざま

# 出退店の状況

■ 前期中に採算性の低い店舗は退店（損失処理済み）、第1Qでは子会社の1店舗のみ退店

(単位：店舗数)

(店舗数)	20/2期 4Q	21/2期 1Q	2Q	3Q	4Q	22/2期 3月	4月	5月
直営店	261	261	256	243	213	<b>212</b>	<b>212</b>	<b>212</b>
磯丸水産	122	122	121	117	105	<b>104</b>	<b>104</b>	<b>104</b>
鳥 良	69	67	67	61	48	<b>48</b>	<b>48</b>	<b>48</b>
その他	30	32	31	28	25	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>26</b>
連結子会社	40	40	37	37	35	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>34</b>
FC店	14	15	15	15	14	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>14</b>
全店計 (月末店舗数)	275	276	271	258	227	<b>226</b>	<b>226</b>	<b>226</b>
出 店	0	5	0	0	0	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
退 店	0	4	5	13	31	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
増 減	0	1	△5	△13	△31	<b>△1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

磯丸事業：磯丸水産全店、鳥良事業：鳥良、鳥良商店、おもてなし鳥良、その他事業：きづなすし、五の五、いち五郎他、  
連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)



# 損益計算書（連結）

■ 販管費抑制維持（※）と助成金制度活用で損失は限定的

(百万円)	2022年2月期	2021年2月期(前年同期)		2020年2月期(前々年同期)	
	1Q (21年3月～5月)	1Q (20年3月～5月)	増 減	1Q (19年3月～5月)	増 減
売上高	2,229	3,044	△815	10,191	△7,962
売上原価	709	914	△205	2,928	△2,219
売上総利益	1,519	2,129	△610	7,262	△5,743
販売費及び 一般管理費	3,802	3,709(※)	93	6,325	△2,523
営業利益	△2,283	△1,580	△703	936	△3,219
営業外収益	2,180	119	2,061	127	2,053
営業外費用	18	9	9	8	10
経常利益	△121	△1,470	1,349	1,056	△1,177
特別利益	32	1,057	△1,025	65	△33
特別損失	1	1,671(※)	△1,670	27	△26
税引前当期純利益	△91	△2,084	1,993	1,094	△1,185
法人税等合計	55	△618	673	371	△316
当期純利益	△147	△1,465	1,318	723	△870

百万円未満は切り捨てて表示

※2020年4月の緊急事態宣言下における全店休業に係るすべての販管費1,306百万円は、特別損失として計上（販管費の実質値：3,709 + 1,306 = 5,015百万円）

# 貸借対照表 (連結)

■ 現預金108億円 (前期末差△7.38億円)、自己資本比率44.9% (同 1.2%)

(百万円)	2022年2月期	2021年2月期(前四半期)		2021年2月期(前年同期)	
	1Q (21年5月末)	4Q (21年2月末)	増 減	1Q (20年5月末)	増 減
流動資産	<b>13,500</b>	13,923	△ 423	14,389	△ 888
うち現預金	<b>10,889</b>	11,628	△ 738	12,511	△ 1,622
固定資産	<b>10,087</b>	10,612	△ 525	14,479	△ 4,392
投資その他の資産	<b>3,465</b>	3,750	△ 285	5,484	△ 2,019
資産合計	<b>23,587</b>	24,535	△ 948	28,869	△ 5,281
流動負債	<b>11,273</b>	11,882	△ 609	11,958	△ 684
うち有利子負債	<b>9,521</b>	9,580	△ 59	9,470	51
固定負債	<b>1,720</b>	1,909	△ 189	2,002	△ 281
負債合計	<b>12,994</b>	13,791	△ 797	13,960	△ 966
自己資本	<b>10,593</b>	10,743	△ 149	14,908	△ 4,315
純資産合計	<b>10,593</b>	10,743	△ 149	14,908	△ 4,315
負債・純資産合計	<b>23,587</b>	24,535	△ 948	28,869	△ 5,281

百万円未満は切り捨てて表示

ネットD/Eレシオ(倍)	△ 0.1	△ 0.2	0.1	△0.2	0.1
自己資本比率	<b>44.9%</b>	43.8%	1.2%	51.6%	△6.7%

# 今後の取り組み

■ 事態収束を見据え、新たな市場開拓や生産性向上への取り組みを開始

## ○今後の取り組み（今期から）

### 食事・ランチ需要の開拓

ランチの充実や食事メニューの見直しを通して新業態開発へ着手  
(磯丸水産食堂・町鮨とろたく)

### 販路の拡大

オンライン店「磯丸水産 お届けグルメショップ」開始、定番商品や餃子・鍋セットなど充実

### グループシナジー

(クリエイトレストランツグループ)  
・バックオフィス機能の統合  
・DX協調で業務効率化・省人化  
・人財の横断的再配置

参照：当社HP「合併会社設立に関するお知らせ」(2021/7/14)

## ●コロナ禍の取り組み（前期まで）

### テイクアウト・デリバリー

既存店舗活用でからあげ・うなぎ等展開、テイクアウト専用窓口の設置進める

### 固定費削減・現金充足

販管費抑制 △26.3%(前年比)  
不測の事態に備え短期借入93億円

### 不採算店舗の退店

固定費高い(都心)、売上減少の大きい(空中階)店舗から退店53店、  
店舗数275→227店(△18%)

# 今後の取り組み ~食事・ランチ需要の開拓

## 磯丸水産食堂 自由が丘しらかば通り店 (21年3月~)

海鮮居酒屋『磯丸水産』の既存店舗を、新鮮な刺身定食、海鮮丼、焼き魚定食など多種多様なメニューを用意するめし処『磯丸水産食堂』としてリニューアル。



## 町鮨 とろたく 元住吉オズ通り店 (21年3月~)

寿司・天ぷら・刺身と品揃え豊富な大衆寿司酒場『町鮨とろたく』、どこか懐かしい雰囲気の中で素材を活かした寿司と天ぷらと美味しいお酒をご提供します。



# 今後の取り組み ～販路の拡大

公式オンラインショップ【磯丸水産 お届けグルメショップ】をオープン。  
磯丸水産の人気No.1メニューをご自宅でお楽しみいただけるようになりました。

【お店の「旨い」をご自宅で】をコンセプトに、人気商品をご自宅でお楽しみいただくことで「皆さまの心とお腹を満たしたい！」という想いが詰まった公式オンラインショップ「磯丸水産 お届けグルメショップ」をオープンしました。  
磯丸水産一番人気の「蟹味噌甲羅焼」をはじめ、「蟹味噌焼おにぎり」、姉妹ブランド「おもてなしとりよし」の水炊き、「いち五郎」の餃子、「玉丁本店」の味噌煮込みうどん、「四代目隆盛」のもつ鍋などを販売。

磯丸名物  
濃厚な蟹味噌が中にたっぷり

蟹味噌甲羅焼

蟹味噌焼おにぎり

蟹味噌甲羅焼 (6食)

蟹味噌焼おにぎり (10個)

磯丸水産  
おうちにお届け！

磯丸水産  
お届けグルメショップ

開店しました！ [公式]オンラインショップからご購入いただけます

人気No.1 蟹味噌甲羅焼 (6食)

蟹味噌甲羅焼 (4食)  
& 蟹味噌焼おにぎり (10個)

姉妹ブランドの人気メニューもご紹介します！

国産黒毛和牛もつ鍋

こだわりの鶏水炊き鍋

極み餃子

味噌煮込みうどん

四代目隆盛

とりよし

餃子 いち五郎

玉丁本店

# 業績ガイダンス（修正）

■ 上期は休業・時短営業で苦戦続くも助成金制度活用で損失カバー、下期ワクチン普及で回復期待

## 通期業績予想修正の理由

- ✓ 休業・時短営業要請・酒類提供制限は期間延長へ、上期いっぱい苦戦続く見通し
- ✓ 下期以降、ワクチン普及等により事態改善、フル営業再開を期待
- ✓ 第2Qまで、休業・時短営業要請に対応する助成金見込み額（営業外収益）を算入

第1Q計上額：約21億円（前期からの持ち越し分含む）、参照：当社HP「営業外収益の計上に関するお知らせ」（2021/7/14）

(百万円)	21年2月期 (20年3月～21年2月)	22年2月期 通期業績予想 (21年3月～22年2月)		③ = ② - ①
	前期実績	①前回予想(4/14)	②今回予想(7/14)	
売上高	17,428	25,000	<b>18,200</b>	△6,800
営業利益	△5,339	0	<b>△4,500</b>	△4,500
経常利益	△4,900	500	<b>1,200</b>	700
純利益	△5,650	0	<b>600</b>	600
期末店舗数（店）	227	227	<b>226</b>	△1

## Appendix

---

株主還元について	16P
損益計算書 四半期別	17P
貸借対照表 四半期別	18P

# 株主還元

■ コロナ禍、業績悪化により配当予想は未定、株主優待券（オレンジ色）のご利用期限を再延長

## 2022年2月期 中間配当および期末配当

コロナ禍、先行き不透明につき、中間・期末配当予想は**未定**とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

## 2020年8月31日以降の権利確定分の株主優待券

**従来通り**、毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元（100株）以上ご所有の株主様を対象として**株主優待券を贈呈**いたします。コロナ禍、休業や時短営業でご迷惑をおかけしております。ついては、2020年8月31日現在の株主様にご送付した株主優待券（券面色：オレンジ ご利用期限：21年5月31日）の**ご利用期限を2021年11月30日まで再延長（1度目の延長期限：8月31日）**いたしました。

※2021年2月末日時点の株主様を対象とした株主優待券（券面色：紫 ご利用期限：2021年11月30日）については、現時点で期限延長を行っていません。

年2回 お食事券 贈呈		基準日	2月末日	8月31日
		贈呈時期	6月上旬頃	11月中旬頃
保有 株式数	100株～499株	お食事券 4,000円分	お食事券 4,000円分	
	500株～999株	お食事券 10,000円分	お食事券 10,000円分	
	1,000株～	お食事券 20,000円分	お食事券 20,000円分	



※上記優待券はいずれも2021年11月30日までご利用いただけます。



# 損益計算書（連結） 四半期別

(百万円)	2020年2月期 (19年3月～20年2月)					2021年2月期 (20年3月～21年2月)					2022年 2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
売上高	10,191	9,888	9,599	10,537	40,216	3,044	4,789	5,984	3,610	17,428	2,229
鳥良事業	2,767	2,528	2,393	2,653	11,691	702	935	1,276	677	3,590	401
磯丸事業	5,826	5,701	5,586	6,000	28,525	1,703	2,900	3,600	2,122	10,325	1,122
その他事業	1,233	1,173	1,123	1,221	25,975	359	547	697	516	2,119	407
連結子会社	364	485	495	661	2,549	279	406	410	293	1,388	297
売上原価	2,928	2,924	2,818	3,021	11,691	914	1,379	1,657	988	4,941	709
売上総利益	7,262	6,964	6,781	7,516	28,525	2,129	3,410	4,326	2,622	12,487	1,519
販管費	6,325	6,415	6,446	6,788	25,975	3,709(※)	4,827	4,709	4,580	17,826	3,802
営業利益	936	549	334	727	2,549	△1,580	△1,417	△382	△1,958	△5,339	△2,283
営業外収益	127	91	93	91	404	118	128	122	135	505	2,180
営業外費用	8	15	7	8	39	9	22	15	18	66	18
経常利益	1,056	625	420	811	2,914	△1,470	△1,311	△276	△1,841	△4,900	△121
特別利益	65	0	0	81	146	1,057	461	184	743	2,447	32
特別損失	27	242	16	462	748	1,671(※)	361	353	856	3,243	1
税引前 当期純利益	1,094	382	404	430	2,312	△2,084	△1,210	△446	△1,954	△5,695	△91
法人税等	371	151	170	157	851	△619	△381	766	188	△45	55
当期純利益	723	230	233	273	1,461	△1,465	△828	△1,212	△2,143	△5,650	△147

百万円未満は切り捨てて表示

※2020年4月の緊急事態宣言下における全店休業に係るすべての販管費1,306百万円は、特別損失として計上（販管費の実質値：3,709 + 1,306 = 5,015百万円）

# 貸借対照表（連結） 四半期別

(百万円)	2020年2月期	2021年2月期				2022年2月期
	4Q (20年2月末)	1Q (20年5月末)	2Q (20年8月末)	3Q (20年11月末)	4Q (21年2月末)	1Q (21年5月末)
流動資産	8,727	14,389	14,019	14,558	13,923	13,500
うち現預金	7,148	12,511	12,867	13,103	11,628	10,889
固定資産	14,248	14,479	14,173	12,487	10,612	10,087
投資その他の資産	4,943	5,484	5,778	4,664	3,750	3,465
資産合計	22,975	28,869	28,193	27,046	24,535	23,587
流動負債	4,881	11,958	12,234	12,357	11,882	11,273
うち有利子負債	137	9,470	9,610	9,572	9,580	9,521
固定負債	1,722	2,002	1,876	1,816	1,909	1,720
負債合計	6,604	13,960	14,110	14,174	13,791	12,994
自己資本	16,380	14,915	14,086	12,872	10,743	10,593
純資産合計	16,371	14,908	14,082	12,872	10,743	10,593
負債・純資産合計	22,975	28,869	28,193	27,046	24,535	23,587

百万円未満は切り捨てて表示

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

S F Pホールディングス 経営企画部

TEL： 044-750-7154

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>